

# アドバリーシステム製 Armadillo-810 向け無線 LAN 拡張ボード 「ATB-A810WLAN」 の使用方法について

## 1. カーネルコンフィギュレーション

ATB-A810WLAN を使用するためには、Armadillo-810 のデフォルトカーネルコンフィギュレーションに対し、拡張インターフェース 1 (CON5) の設定を変更する必要があります。

以下のコンフィギュレーション設定を行い、Linux カーネルをビルドしてください。

CON5 extension board の設定を Standard から Custom へ変更します。

```
Linux/arm 3.4-at5 Kernel Configuration
System Type --->
  Armadillo-810 System Configuration --->
    CON5 extension board (Custom) --->
      (X) Custom                               ←Custom を選択
```

SDHI1 を有効化し、無線 LAN モジュールの電源制御信号として PORT75 を有効化します。

```
Linux/arm 3.4-at5 Kernel Configuration
System Type --->
  Armadillo-810 System Configuration --->
    [*] use SDHI1                               ←有効化
    [ ] have CD/WP [CD:PORT72, WP:PORT73] (NEW)
    [*] have Power-Switch [EN:PORT75]          ←有効化
```

## 2. ユーザーランドコンフィギュレーション

ATB-A810WLAN に搭載される Armadillo-WLAN を使用するため、ユーザーランドコンフィギュレーションの Vendor specific で Armadillo-WLAN の設定を行います。

AWL13 Support mode ではご使用の用途に合わせ、STA (ステーション) または AP (アクセスポイント) を選択してください。

```
atmark-dist v1.31.0 Configuration
Vendor specific --->
  [*] Armadillo-WLAN                           ←有効化
  (AWL13) Armadillo-WLAN Products              ←AWL13 を設定
  (SDIO) AWL13 Support interface               ←SDIO を設定
  (STA) AWL13 Support mode                     ←STA または AP を選択
```

### 3. ATB-A810WLAN を使うためのイメージファイル

前述のコンフィギュレーションを行った Linux カーネル及びユーザーランドのイメージは、以下の場所からダウンロードできます。

なお、本イメージファイルは、「2. ユーザーランドコンフィギュレーション」の AWL13 Support mode を STA に設定し作成したものです。

#### [Linux カーネルイメージ]

<http://download.atmark-techno.com/misc/atb-a810wlan/linux-awl13-20131211.bin.gz>

#### [ユーザーランドイメージ]

<http://download.atmark-techno.com/misc/atb-a810wlan/romfs-awl13-20131211.img.gz>

**本イメージファイルは起動確認用のサンプルファイルです。**

**製品設計時は、最新の Atmark Dist 及び Linux カーネルを使用し、イメージファイルを作成してください。**

※本文書は 2013 年 12 月 11 日付けの情報です。